

トヨタ純正

GR サンプガード

取付要領書

このたびはトヨタ純正 GR サンプガードをお買い上げいただきありがとうございます。

本書は GR サンプガードの取り付け要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

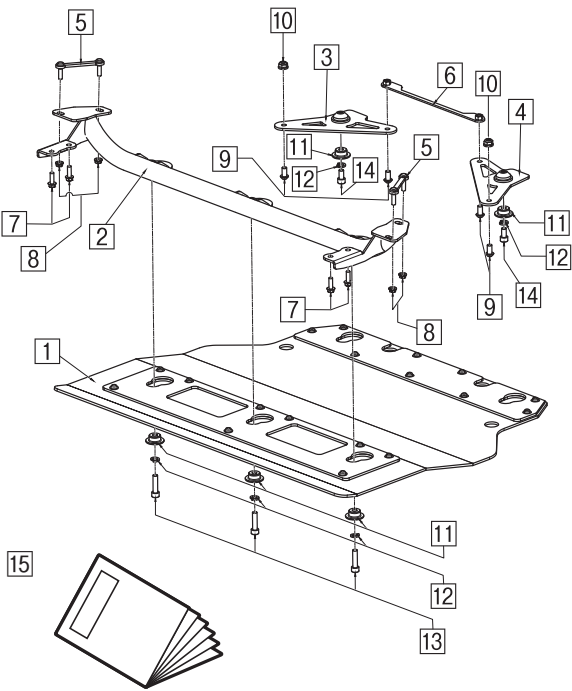
本書を必ずお客様にお渡しください。

品 番

51410 - 52160

構成部品

No.	品 名	品 番	個数
1	サンプガード 本体	51451-52100	1
2	サンプガードステー フロント	51445-52050	1
3	サンプガードステー リヤ RH	51442-52240	1
4	サンプガードステー リヤ LH	51443-52030	1
5	ボルトベース フロント	51445-52060	2
6	ナットベース リヤ	51445-52070	1
7	フランジボルト (M8 × 25mm)	—	4
8	フランジナット (M8)	—	4
9	フランジボタンボルト (M10 × 20mm)	—	4
10	フランジナット (M10)	—	2
11	クイックアタッチメント	—	5
12	スプリングワッシャー (M10)	—	5
13	キャップボルト (M10 × 40mm)	—	3
14	キャップボルト (M10 × 20mm)	—	2
15	取付要領書	—	1



取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ⚠ 注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を破損する等の恐れがあることを記載しています
👉 アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

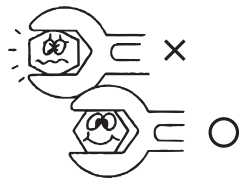
⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

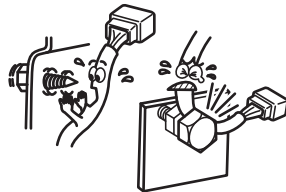
- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は、安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。

部品の取り付けは

●寸法に合った工具を使う



●裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



取り付け完了後は

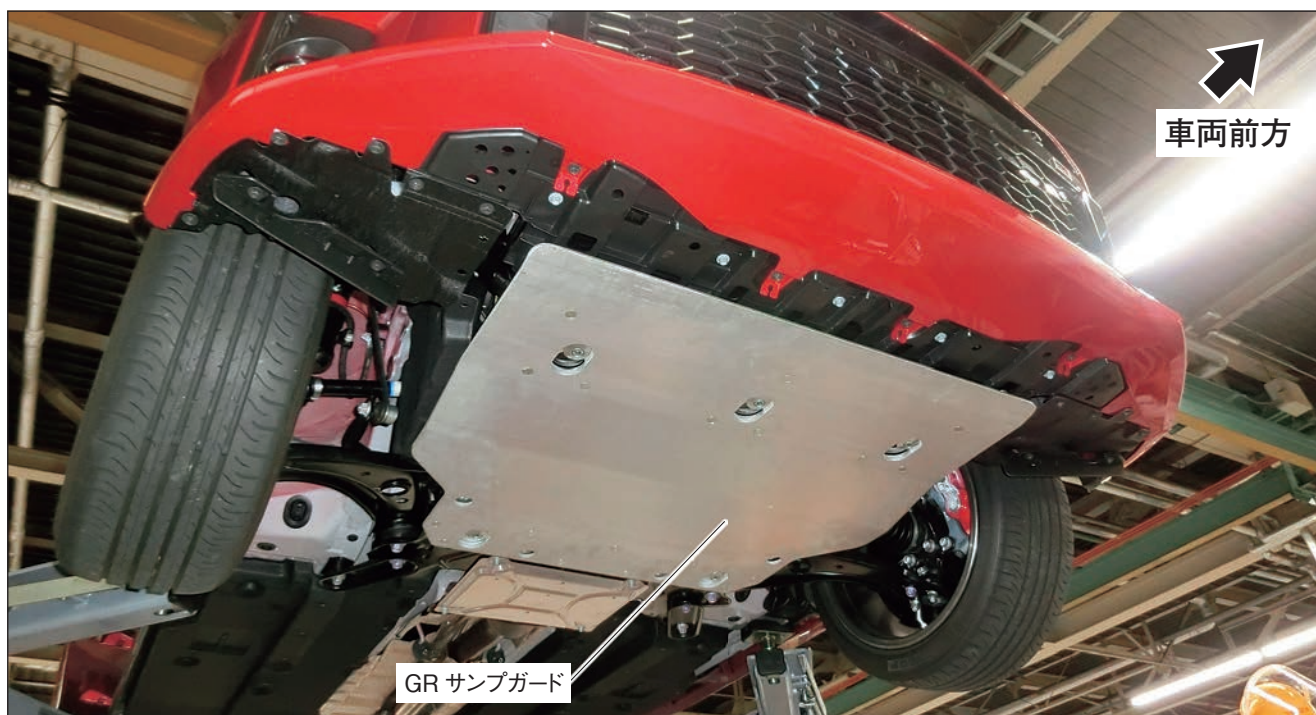
●取りはずした車両部品は確実に復元する



取り付けに必要な工具等

一般工具、トルクレンチ、ジャッキ、木片、スケール

取付概要



車両部品の取りはずし

1. 修理書を参照し、アンダーガードを取りはずす。

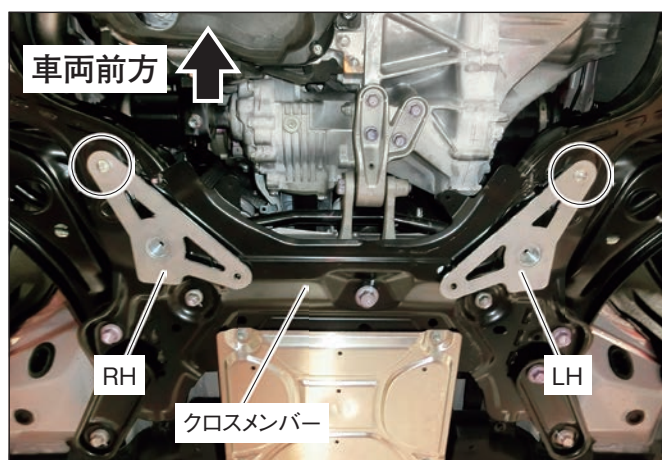


アドバイス

取りはずしたアンダーガードは再使用しません。

2. 修理書を参照し、バンパーアブソーバーロアを取りはずす。

取付要領



サンプガードステー リヤの取り付け

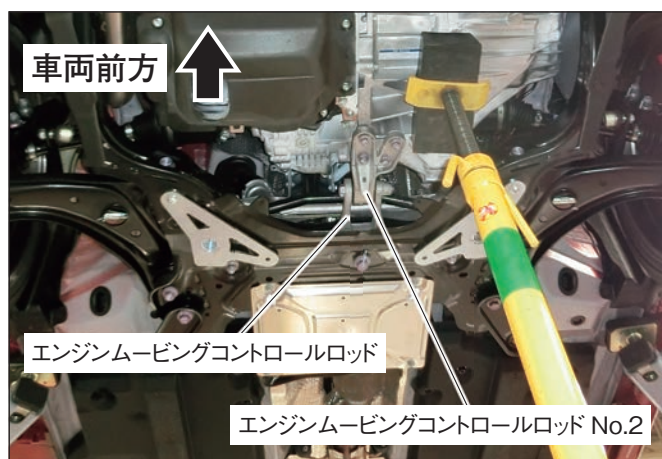
1. 付属のフランジボタンのボルト (M10 × 20mm) 1 本及びフランジナット (M10) 1 個を使用し、サンプガードステー リヤ RH をクロスメンバーに仮固定する。



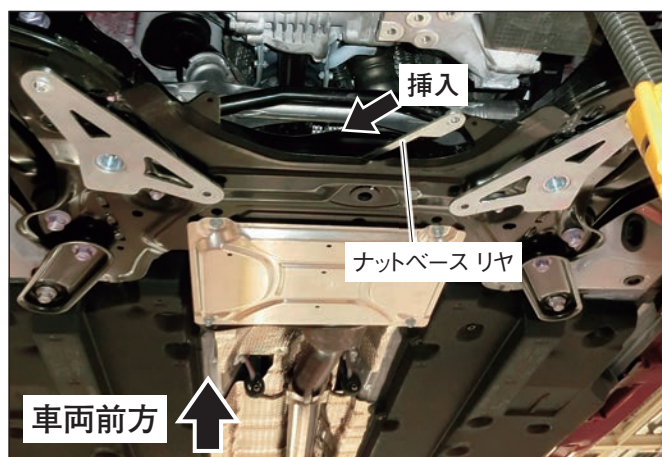
アドバイス

識別シールを確認し、RH/LH を識別してください。

2. 同様に、サンプガードステー リヤ LH をクロスメンバーに仮固定する。



3. 木片及びジャッキを使用し、エンジンを支持する。
4. ボルト (5 本) をはずし、エンジンムービングコントロールロッド No.2 を取りはずす。
5. ボルト (1 本) をはずし、エンジンムービングコントロールロッドを取りはずす。

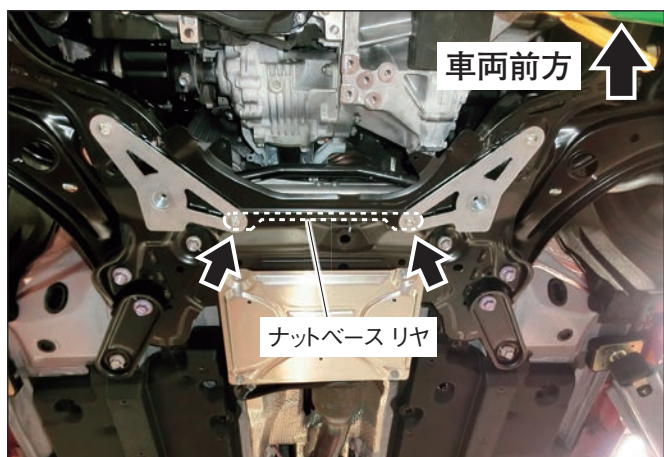


6. ナットベース リヤのナット面を上にした状態で、クロスメンバーの中に挿入する。



アドバイス

凹形状側が車両後方になるよう挿入してください。



7. ナットベース リヤとサンプガードステー リヤの穴位置を合わせ、付属のフランジボルト (M10 × 20mm) 2 本を使用して、仮固定する。
8. サンプガードステー リヤ RH 及びサンプガードステー リヤ LH を本締めする。(4 箇所)
締め付けトルク：50N・m
9. エンジンムービングコントロールロッドを復元する。(1 箇所)
締め付けトルク：200N・m
10. エンジンムービングコントロールロッド No.2 を復元する。(5 箇所)
締め付けトルク：44N・m



サンプガードステー フロントの取り付け

1. ボルトベース フロント (1 個) を★部からクロスメンバー (LH 側) の中に入れる。
2. 同様に、ボルトベース フロント (1 個) をクロスメンバー (RH 側) に入れる。



3. 木片及びジャッキを使用し、ラジエーターロアサポートを支持する。
4. ラジエーターロアサポート固定ボルト (4 本) を取りはずす。

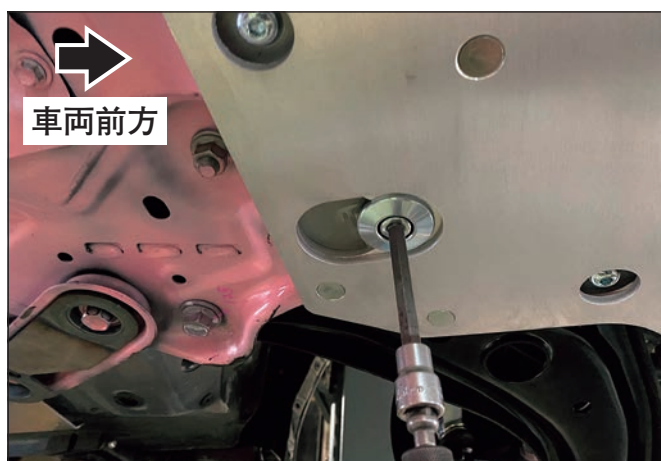
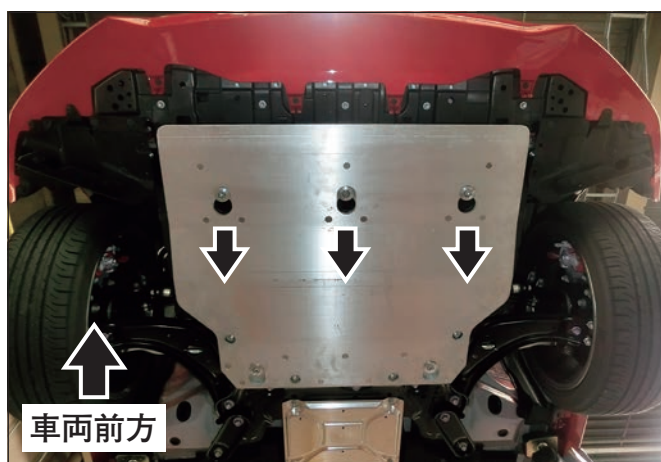
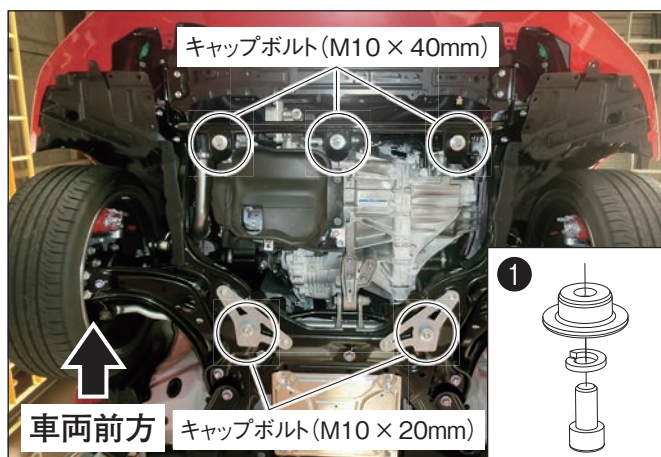


アドバイス

取りはずしたボルト (4 本) は再使用しません。



5. 付属のフランジボルト (M8 × 25mm) 4 本を使用し、サンプガードステー フロントをラジエーターロアサポートに仮固定する。
6. 付属のフランジナット (M8) 4 本を使用し、サンプガードステー フロントをボルトベース フロントに仮固定する。
7. 付属のフランジボルト (M8 × 25mm) 4 本を本締めする。
締め付けトルク：20N・m
8. 付属のフランジナット (M8) 4 個を本締めする。
締め付けトルク：25N・m



サンプガード 本体の取り付け

1. ①に従い、付属のクイックアタッチメント 3 個、スプリングワッシャー (M10) 3 個、キャップボルト (M10 × 40mm) 3 個をサンプガードステー フロントに仮固定する。
2. ①に従い、付属のクイックアタッチメント 2 個、スプリングワッシャー (M10) 2 個、キャップボルト (M10 × 20mm) 2 個をサンプガードステー リヤ RH/LH に仮固定する。

👉 アドバイス

サンプガード 本体を取り付ける為、サンプガードステーとクイックアタッチメントとの隙間を 8mm 程度残しておいてください。(5 箇所)



3. バンパーアブソーバーロアを復元する。

⚠ 注意

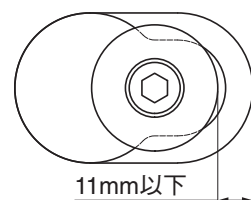
取り付けの際、バンパーアブソーバーロアとサンプガードステーフロントが干渉しますが正常です。

4. サンプガード 本体をクイックアタッチメントに挿し込み、車両後方にスライドさせる。

5. サンプガード 本体を本締めする。(5 箇所)
締め付けトルク：60N・m

⚠ 注意

アタッチメントとサンプガード 本体に隙間ができますが、新品取付時に 11mm 以下であれば正常です。



取り付け完了後の確認

取り付けの確認

1. 取り付けに異常がないことを確認してください。
2. 取り付けの際、車両に傷が付いていないことを確認してください。

ユーザー様へ

使用上のご注意

⚠ 注意

- ・安全且つ快適にご使用頂く為に、日常点検、保守管理を実施してください。
- ・緩みやガタつきがないことを確認し、必要に応じて増し締めを行ってください。

トヨタ純正

GR タンクガード

取付要領書

このたびはトヨタ純正 **GR タンクガード**をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は **GR タンクガード**の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
本書を必ずお客様にお渡しください。

品 番

77641 - 52160

構成部品

No.	品 名	品 番	個数
1	タンクガード RH	77641-52220	1
2	タンクガード LH	77642-52150	1
3	タンクガードステー フロント RH	77641-52230	1
4	タンクガードステー リヤ RH	77641-52240	1
5	タンクガードステー フロント LH	77642-52160	1
6	タンクガードステー リヤ LH	77642-52170	1
7	フランジナット (M8)	—	6
8	フランジナット (M6)	—	1
9	取付要領書	—	1

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ⚠ 注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を破損する等の恐れがあることを記載しています
👉 アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

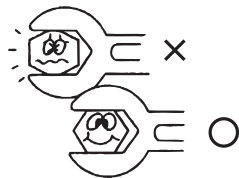
⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

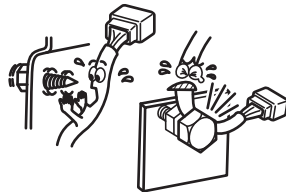
- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は、安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。

部品の取り付けは

●寸法に合った工具を使う



●裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



取り付け完了後は

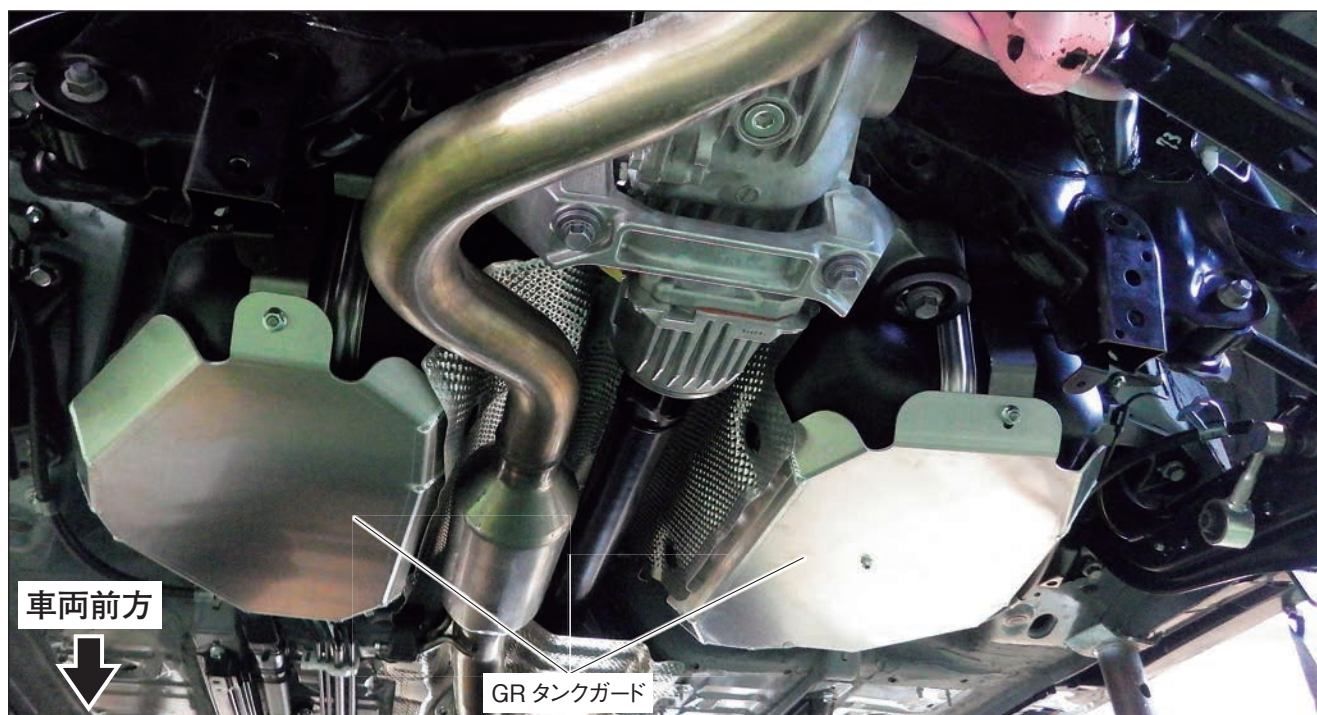
●取りはずした車両部品は確実に復元する



取り付けに必要な工具等

一般工具、トルクレンチ

取付概要



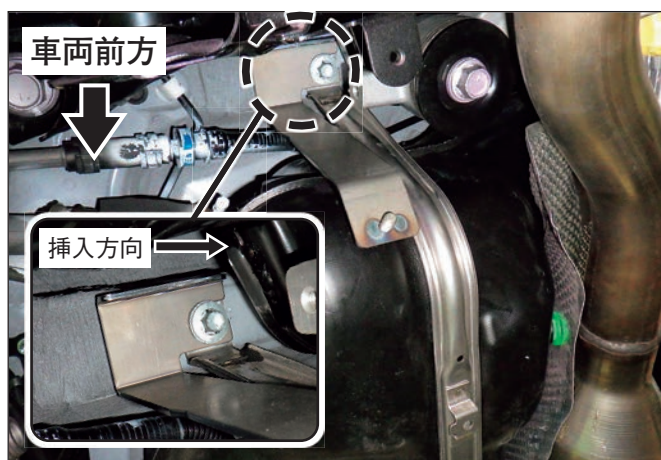
車両部品の取りはずし

1. 修理書を参照し、燃料タンクカバーを取りはずす。

アドバイス

取りはずしたタンクカバーは再使用しません。

取付要領



タンクガード LH の取り付け

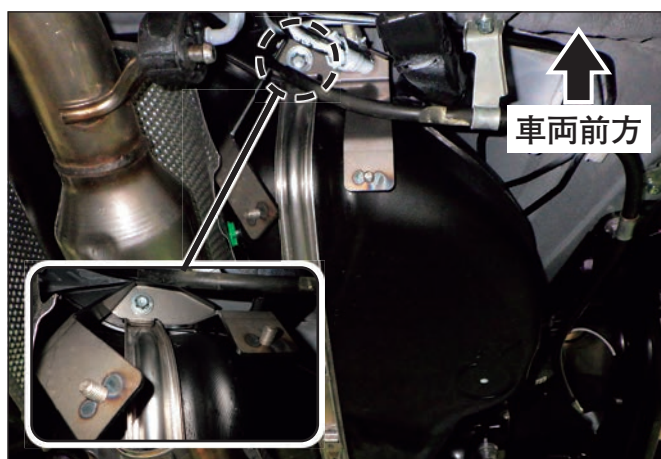
1. タンクバンド LH のリヤ側車両ボルト (1 本) を緩め、タンクガードステー リヤ LH をタンクバンドと車両ボルトの間に挿入し、仮固定する。

注意

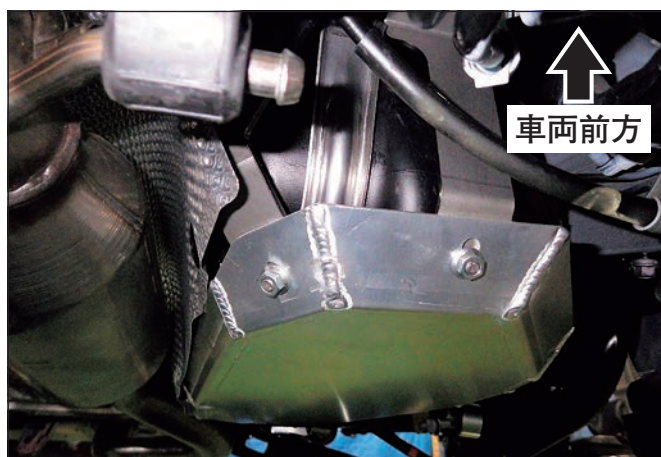
タンク脱落の恐れがある為、必ずタンクガードは片方ずつ作業を行ってください。

アドバイス

ボルトは取りはずしません。



2. タンクバンド LH のフロント側車両ボルト (1 本) をはずし、タンクガードステー フロント LH をタンクバンドと共に仮固定する。



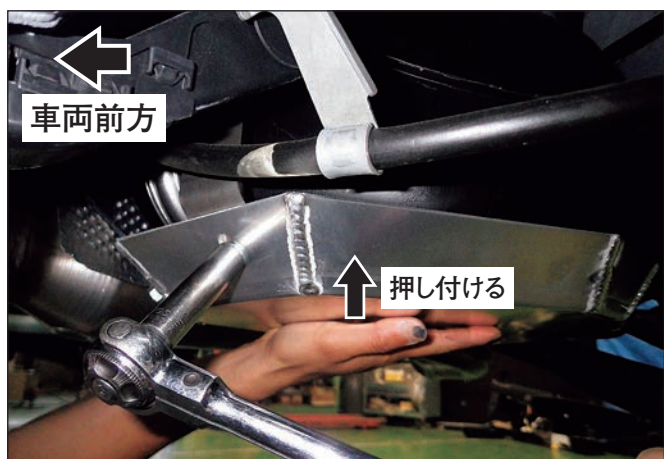
3. 付属のフランジナット (M8) 3 個を使用し、タンクガード LH をタンクガードステーに仮固定する。

注意

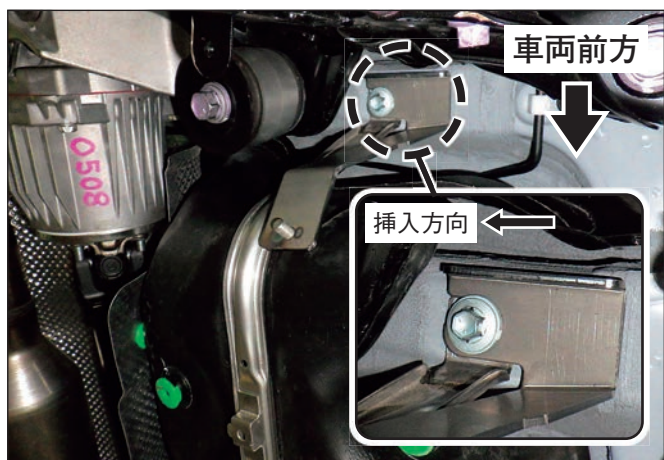
タンクガード LH は遮熱版とタンクの間に挿し込んでください。

4. タンクバンド LH のフロント側車両ボルト及びタンクバンド LH のリヤ側車両ボルトを本締めする。(2箇所)

締め付けトルク：45N・m



5. タンクガード LH を上側に押し付けながら本締めする。(3箇所)
締め付けトルク：20N・m



タンクガード RH の取り付け

1. タンクバンド RH のリヤ側車両ボルト(1本)を緩め、タンクガードステー リヤ RH をタンクバンドと車両ボルトの間に挿入し、仮固定する。

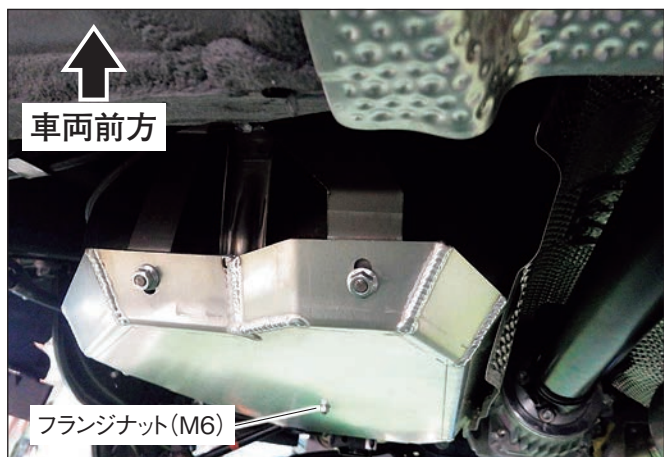


アドバイス

ボルトは取りはずしません。



2. タンクバンド RH のフロント側車両ボルト(1本)をはずし、タンクガードステー フロント RH をタンクバンド RH と共に仮固定する。

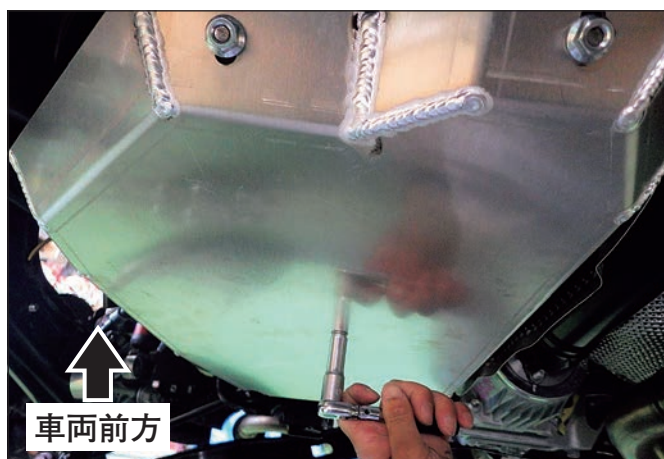


3. タンク下側のスタッドボルトをタンクガード RH に挿し込む。
4. 付属のフランジナット(M8) 3個を使用し、タンクガード RH をタンクガードステーに仮固定する。

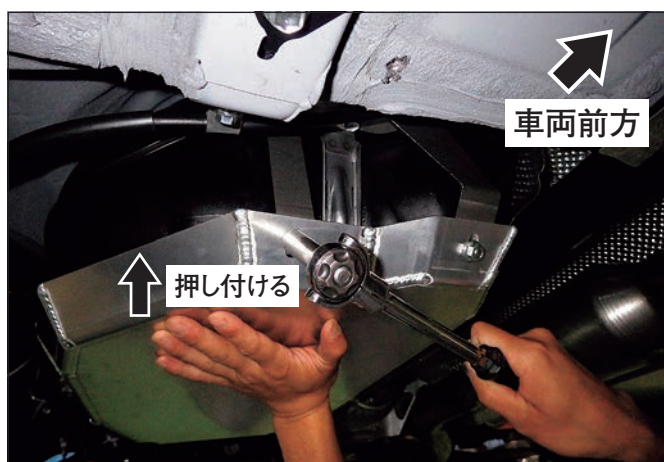
⚠ 注意

タンクガード RH は遮熱版とタンクの間に挿し込んでください。

5. 付属のフランジナット(M6) 1個を使用し、タンクガード RH をタンク下側のスタッドボルトに仮固定する。
6. タンクバンド RH のフロント側車両ボルト及びタンクバンド RH のリヤ側車両ボルトを本締めする。(2箇所)
締め付けトルク：45N・m



7. タンクガード下側のフランジナット (M6) を本締めする。(1箇所)
締め付けトルク：4.5N・m



8. タンクガード RH を上側に押し付けながら本締めする。(3箇所)
締め付けトルク：20N・m

取り付け完了後の確認

取り付けの確認

1. 取り付けに異常がないことを確認してください。
2. 取り付けの際、車両に傷が付いていないことを確認してください。

ユーザー様へ

使用上のご注意

⚠ 注意

- ・安全且つ快適にご使用頂く為に、日常点検、保守管理を実施してください。
- ・緩みやガタつきがないことを確認し、必要に応じて増し締めを行ってください。

===== MEMO =====

トヨタ純正

GR フロアガード

取付要領書

このたびはトヨタ純正 GR フロアガードをお買い上げいただきありがとうございます。

本書は GR フロアガードの取り付け要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

本書を必ずお客様にお渡しください。

品 番

58390 - 52010

構成部品

No.	品 名	品 番	個数
1	フロアガード RH	58165-52080	1
2	フロアガード LH	58166-52070	1
3	フランジボルト (M8 × 15mm)	—	5
4	フランジボルト (M8 × 25mm)	—	23
5	フランジナット (M8)	—	28
6	ナット (M6)	—	6
7	ワッシャー (M6)	—	6
8	取付要領書	—	1

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ⚠ 注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を破損する等の恐れがあることを記載しています
 📢 アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は、安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (4) バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

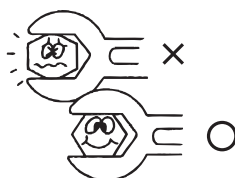
取り付ける前に

- バッテリーの（－）側ケーブルをはずす



部品の取り付けは

- 寸法に合った工具を使う



- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する

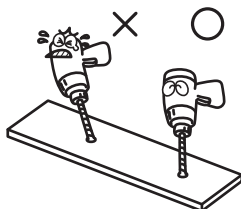


穴開け作業は

- 保護メガネを着用する



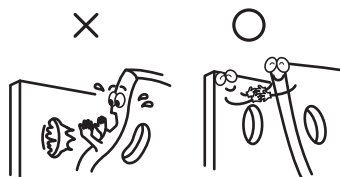
- 無理な姿勢で作業をしない



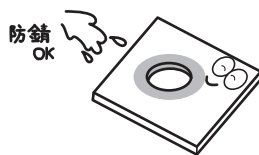
- 切り粉を素手でさわらない



- 穴開け後のバリはヤスリ等で取り除く



- 穴開け部の防錆処理を確実に行う

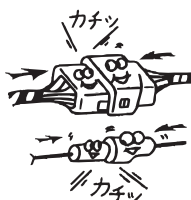


配線は

- コネクタは本体を持てはらず



- コネクタは確実に接続する



取り付け完了後は

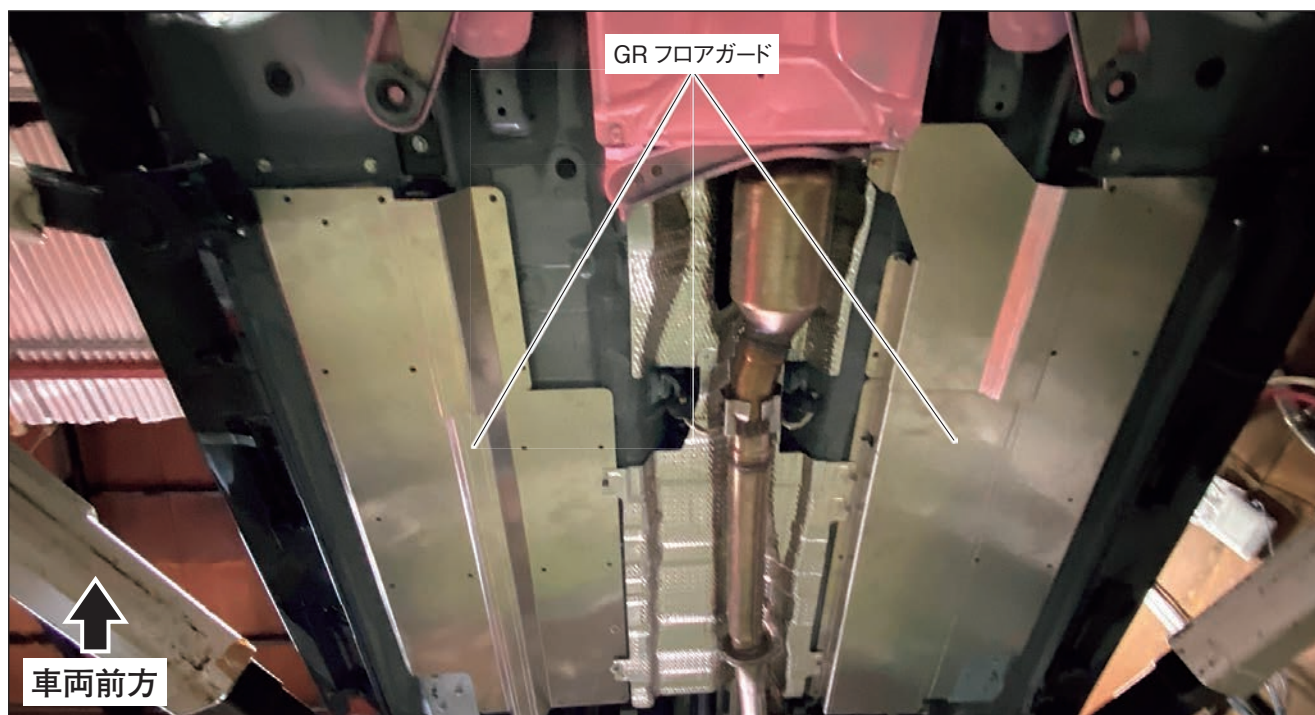
- 取りはずした車両部品は確実に復元する



取り付けに必要な工具等

一般工具、脱脂剤、保護メガネ、保護手袋、ドリル(φ 3、φ 9)、トルクレンチ、ヤスリ等、塗布用筆、
 錆止め剤、ジャッキ、木片、シール剤(セメダイン透明 8000 相当)、スクレーパー、ビニール手袋、掃除機

取付概要



車両部品の取りはずし



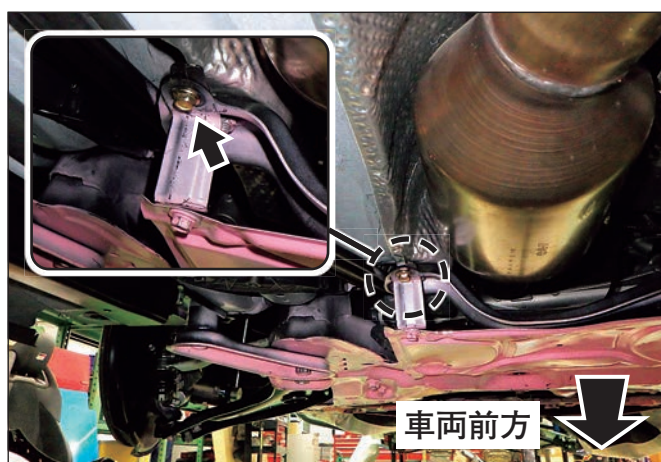
1. 修理書を参照し、フロントシート LH、フロントシート RH 及びリヤシートを取りはずす。
2. 左図に従い、フロアカーペット及び防音材を取り付けの邪魔にならないようセンターにまとめ、左右のフロア部を出す。
3. 修理書を参照し、フロアカバーを取りはずす。



アドバイス

取りはずしたフロアカバーは再使用しません。

取付要領



フロアの穴あけ

1. ボルト(1本)をはずす。(LH 側のみ)



アドバイス

ボルトは再使用します。



2. ナット(1個)をはずす。(LH 側のみ)



アドバイス

ナットは再使用しません。



3. フロアガード LH/RH を車両スタッドボルトに合わせ、位置決めする。

車両スタッドボルト本数

- ・ LH 側 7箇所
- ・ RH 側 5箇所

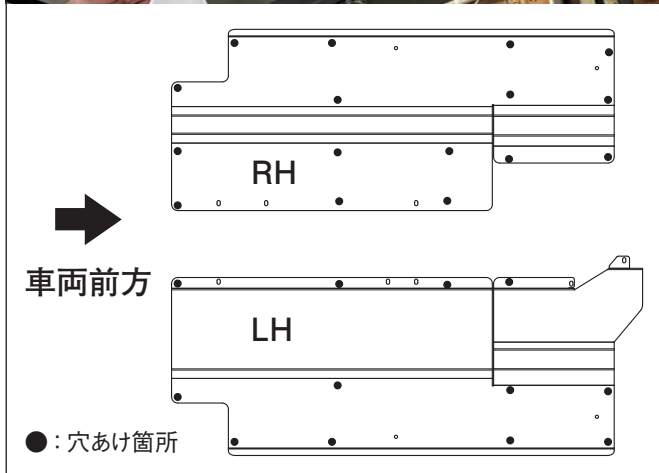
4. 木片及びジャッキを使用し、フロアガード LH/RH を支持する。



5. ステア→フロアガード LH →車両ボルトの順でフロアガード LH を仮固定する。(LH 側のみ)



6. 付属のナット (M6) 6 個、ワッシャー (M6) 6 個を使用し、フロア→フロアガード LH/RH →遮熱板→ワッシャー→ナットの順でフロアガード LH/RH を仮固定する。



7. フロアガードの穴あけ位置中心に対して垂直にポンチで印を付ける。

穴あけ箇所

- ・ LH 側 12 箇所
- ・ RH 側 16 箇所

👉 アドバイス

LH 側と RH 側で穴あけの個数が異なります。

8. 車内に干渉するものが無いことを確認し、 $\phi 3$ のドリルでポンチ位置に下穴をあける。
9. フロアガード LH/RH を取りはずす。
10. $\phi 9$ のドリルで下穴に本穴をあける。

⚠ 注意

- ・ 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、下穴からズレないように注意してください。
- ・ 作業時は保護メガネを着用してください。
- ・ 穴あけ加工時は、車室内の配線等を傷つけないように注意してください。
- ・ ドリルに巻き込まれる恐れがあるため、手袋などは着用しないでください。

11. ボルト及びナットの取り付け部に干渉する免震材を削除する。

👉 アドバイス

グレードによっては付いていない場合があります。

12. 穴のバリを取り除く。

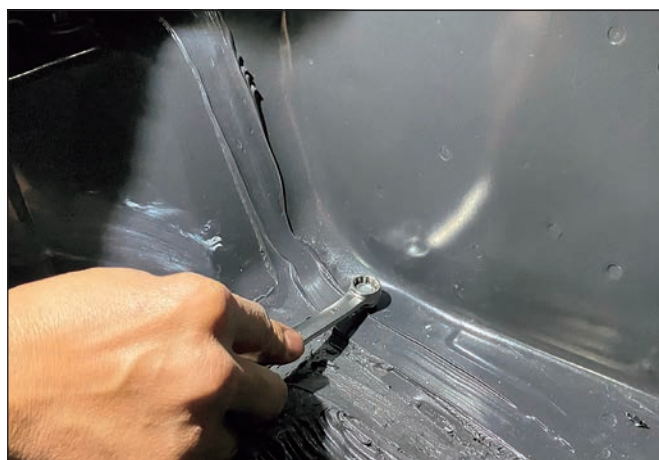
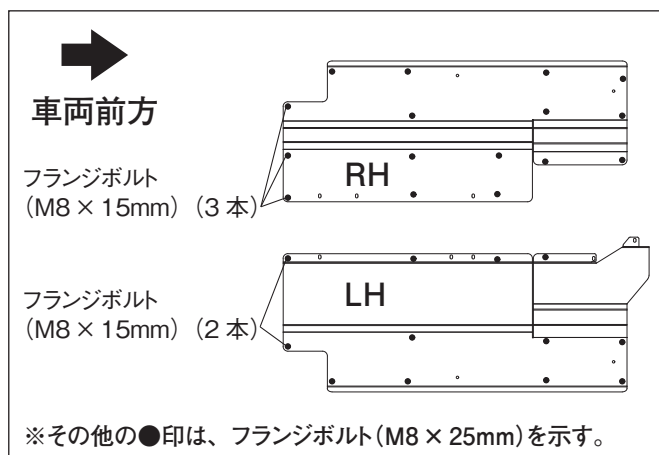
⚠ 注意

- ・ バリを取り除く際、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。
- ・ 車室内に飛散した切り粉を完全に除去しないと、錆汁がたれる可能性があります。掃除機にて確実に切り粉を取り除いてください。

13. 穴あけ加工部に、塗布用筆を使用して錆止め剤を塗布する。

⚠ 注意

- ・ 錆止め剤が穴あけ加工部以外に付着しないよう注意してください。



フロアガードの取り付け

1. シール剤 (セメダイン透明 8000 相当) を車外取り付け穴外周に塗布する。

⚠ 注意

- ・ シール剤を使用する際は、必ずビニール手袋を着用してください。
- ・ シール剤は、必ず「セメダイン透明 8000 相当」を使用してください。違うシール剤を使用すると、水入り防止の効果を得られない恐れがあります。

2. フロアガード LH を取り付け、付属のフランジボルト (M8 × 25mm) 10 本及びフランジボルト (M8 × 15mm) 2 本を車外側から差し込み、付属のフランジナット (M8) 12 個で仮固定する。
3. フロアガード RH を取り付け、付属のフランジボルト (M8 × 25mm) 13 本及びフランジボルト (M8 × 15mm) 3 本を車外側から差し込み、付属のフランジナット (M8) 16 個で仮固定する。

👉 アドバイス

- ・ ステア及び遮熱板の取付順に注意してください。(P.5 の 6. を参照)
- ・ LH 側と RH 側でボルト及びナットの本数が異なります。

フロア固定箇所

- ・ LH 側 12 箇所
- ・ RH 側 16 箇所

4. フロアガード LH/RH を付属のフランジボルト及びフランジナットで本締めする。(28 箇所)
締め付けトルク：20N・m
5. 遮熱板のナット (M6) を本締めする。(6 箇所)
締め付けトルク：5N・m
6. LH 側ステアの車両ボルトを本締めする。(1 箇所)
締め付けトルク：5N・m

復元作業

下記の点に注意し、取りはずした車両部品を復元してください。

⚠ 注意

- ①車両ハーネスが噛み込んでいないこと
- ②ボルト及びナットの締め忘れ、クリップ等の半嵌合がないこと
- ③コネクター類の嵌め忘れ、または半嵌合のないこと
- ④車両部品に傷を付けないこと
- ⑤ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統に異常のないこと

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

取り付け完了後の確認

取り付けの確認

1. 取り付けに異常がないことを確認してください。
2. 取り付けの際、車両に傷が付いていないことを確認してください。

ユーザー様へ

使用上のご注意

⚠ 注意

- ・安全且つ快適にご使用頂く為に、日常点検、保守管理を実施してください。
- ・緩みやガタつきがないことを確認し、必要に応じて増し締めを行ってください。